漁海況情報

第640号(令和7年10月14日発行)

発行:山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379

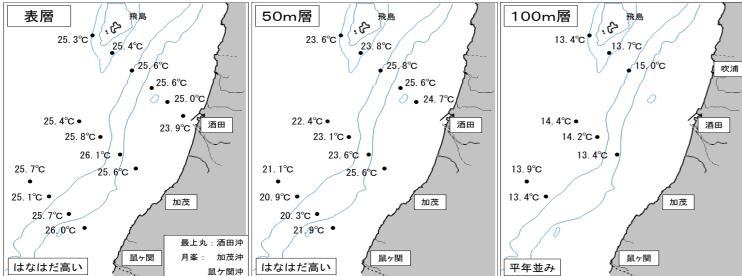
ホームペーン: http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

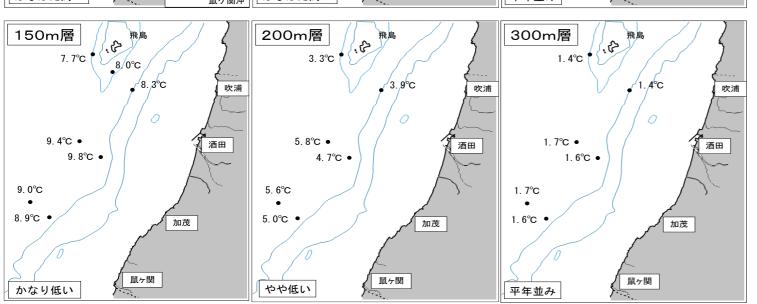
- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産研究所「最上丸」は、9月30日と10月3日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層および50m層は「はなはだ高い」、100m層および300m層は「平年並み」、150m層は「かなり低い」、200m層は「やや低い」でした。
- ・9月の地先水温は鶴岡市加茂(水産研究所)では「はなはだ高い」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)では「かなり高い」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構が10月9日に発表した「2025年度第3回日本海海況予報」によると、日本海北部における対馬暖流域の表面水温は「かなり高め」、50m深水温は「やや高め」で経過します。
- 大型クラゲは県内でも少量ですが断続的に入網しているようです。引き続き警戒してください。

沿岸25海里定点各層別の平均水温

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本 年	25. 4	23. 3	13. 9	8. 7	4. 7	1. 6
前年差	− 0. 1	+4. 1	+1.2	-0. 9	+0. 3	+0. 2
平年差	+2.6	+3. 1	±0.0	-1.2	-0.4	+0. 1
評価	はなはだ高い	はなはだ高い	平年並み	かなり低い	やや低い	平年並み
(前月評価)	(かなり高い)	(かなり高い)	(やや高い)	(平年並み)	(やや高い)	(平年並み)





地先平均水温(9月)

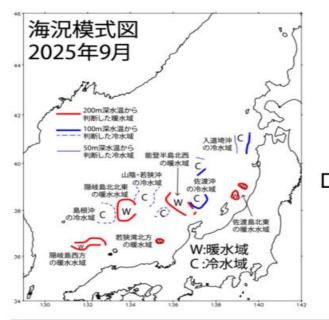
単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	27. 2	+0. 1	+2. 6	はなはだ高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	27. 4	+0.5	+2. 3	かなり高い

2025年度第3回日本海海況予報

(国立研究開発法人水産研究・教育機構 10月9日プレスリリースより作成)

今後の見通し(2025年10月中旬~12月) のポイント

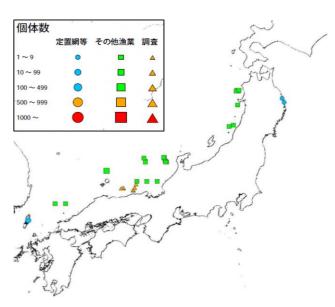


(註) 用語の定義は以下のとおり。 "はなはだ": 出現確率約22年に1回、"かなり": 出現確率約7年に1回 "やや": 出現確率約3年に1回、"平年並み": 出現確率約2年に1回

- ○隠岐島西方の暖水域は弱体化し消滅する。隠岐島北北東の暖水域は弱体化し消滅する。若狭湾北方の暖水域は弱体化し消滅する。能登半島北西の暖水域は弱体化し消滅する。佐渡島北東の暖水域は西方に移動し、能登半島北方に分布する。
- ○島根沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくや や接岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張 り出しは、やや大きくやや離岸で経過する。佐 渡沖の冷水域の張り出しは、面積、接岸距離と もに平年並みで経過する。入道埼沖の冷水域の 張り出しは、面積、接岸距離ともに平年並みで 経過する。
- ○対馬暖流域の表面水温は"かなり高め"で経過する。
- ○対馬暖流域の水深 50 m 水温は、日本海西部で" 」かなり高め"、北部で"やや高め"で経過する。

2 大型クラゲ出現情報

- 〇県内では9月から底びき網で入網があり、10月現在も少量の入網が続いています。
- 〇日本海中西部でも入網が続いている ようですので、引き続き警戒をして ください。



(一般社団法人 漁業情報サービスセンター ホームページより、 直近2週間の大型クラゲ出現状況)

9月勿漁號

- ・延べ操業隻数は898隻で平年比60%、総漁獲量は371トンで平年比89%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は91トンで平年比67%でした。アカラ(ハツメ)、ニギスおよびスルメイカは平年を上回り、 口細(マガレイ)、ねさし(マコガレイ)、大羽(ムシガレイ)、ヤナギムシガレイ、その他のカレイ類、ハタハタ、ホッケ、 アンコウ、マダラ、紅エビ(ホッコクアカエビ)およびタコ類は平年を下回りました。 タイ類、ヒラメ、スケソウダラおよびノドグロ(アカムツ)は平年並みでした。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は1トンで平年比13%でした。タイ類、ブリ類、サワラ、ノドグロ(アカムツ)、アマダイ、サバは 平年を下回り、メバル類は平年並みでした。
- ・採貝藻漁業の漁獲量は8トンで、平年比68%でした。サザエは平年を下回りました。
- ・定置網漁業のサケの漁獲はありませんでした。
- ・その他の漁業では、船凍いか釣漁業のスルメイカ、一本釣り漁業のブリ類は平年を上回り、いか一本釣漁業のスルメ イカ、さし網漁業のウスメバル、ごち網漁業のタイ類およびかご漁業の浅海性バイ類は平年を下回りました。
- *平年比は令和元年~令和5年までの平均値と比較した値です。
- *平年比85%~115%は「平年並み」、平年比84%以下は「平年を下回る」、平年比116%以上は「平年を上回る」としました。
- * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

単位:隻、kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	42	149	118	34	125	65	55	310	898	57%	60%
漁獲量	3,889	4,860	248,162	50,449	17,339	9,493	1,118	35,588	370,897	162%	89%
前年比	88%	42%	391%	81%	84%	89%	22%	70%	162%		
平年比	74%	55%	98%	95%	74%	81%	39%	64%	89%		

底びき網漁業

単位:隻、kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	12	42	51	22	108	235	89%	82%
タイ類	212	13,815	2,188	158	1,799	18,172	111%	95%
ヒラメ	351	53	41	38	48	531	183%	111%
口細(マガレイ)	17	113	233	100	562	1,025	133%	49%
ねさし(マコガレイ)	68	307	340	32	53	801	95%	56%
大羽(ムシガレイ)	119	369	980	548	672	2,688	136%	70%
ヤナギムシガレイ	19	41	164	133	179	536	79%	43%
その他のカレイ類	9	13	475	153	592	1,243	85%	78%
ハタハタ	5		62	413	33	512	330%	71%
スケソウダラ	18		45	153	18	234	51%	93%
ホッケ	3	117	24	89	109	342	16%	1%
アンコウ	120	358	768	476	587	2,308	81%	70%
ノドグロ(アカムツ)	94	896	993	263	736	2,982	122%	96%
アカラ(ハツメ)		453			3,125	3,578	98%	163%
マダラ	12	41	60	96	523	731	50%	13%
ニギス		17,990	98	5	39	18,132	73%	185%
紅エビ(ホッコクアカエビ)			1	3	4,806	4,810	47%	46%
スルメイカ	61	1,108	1,008	578	9,334	12,088	205%	149%
タコ類	6	11	106	216	689	1,028	70%	51%
その他	1,912	3,727	4,747	1,239	7,985	19,610		
計	3,026	39,411	12,333	4,693	31,887	91,350	93%	67%
前年比	152%	88%	134%	100%	85%	93%		
平年比	71%	58%	98%	74%	70%	67%		

はえなわ漁業

単位:隻、kg

支 所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	6	2		2	5	7	9	31	62	28%	32%
タイ類	13			4	19	10	11	36	92	14%	15%
ブリ類								11	11	5%	1%
サワラ	4						16	114	134	1%	3%
メバル類				1	8		2	106	117	309%	97%
ノドグロ(アカムツ)	2				47				49	45%	58%
アマダイ	18					9	1	19	47	57%	40%
サバ	47				34	21	68	128	297	14%	30%
その他	42	15		1	68	42	64	154	384		
計	125	15		5	175	81	162	568	1,131	8%	13%
前年比	10%	17%		11%	23%	9%	5%	7%	8%		
平年比	34%	5%		5%	35%	9%	10%	14%	13%		

採貝藻漁業

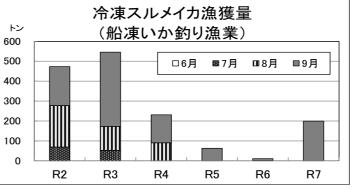
単位:隻、kg

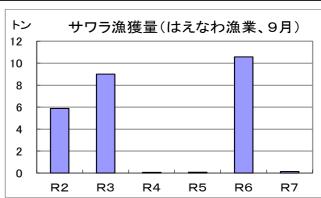
支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	平年比
延べ操業隻数	8	106	14	7	48	9	41	140	373	68%	78%
サザエ		2,826	121	182	1,351	195	382	2,396	7,453	48%	61%
その他	140		98		176	7	552	210	1,183		
計	140	2,826	218	182	1,527	202	934	2,606	8,635	54%	68%
前年比	583%	46%	94%	33%	69%	27%	50%	62%	54%		
平年比	232%	80%	96%	41%	79%	30%	75%	57%	68%		

※当所の採貝藻の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。 単位:隻、kg

その他の漁業

漁業種類	船凍いか釣 漁業	いか一本釣り 漁業	さし網漁業		あまだい さし網漁業	ごち網 漁業	一本釣漁業	かご 漁業
延べ操業隻数	2	0	56		19	26	72	32
総漁獲量(kg)			2,412		1,411	8,059	5,352	3,377
前年比			42%		60%	73%	91%	97%
平年比				56%	69%	74%	146%	67%
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ウスメバル	キス	アマダイ	タイ類	ブリ類	浅海性バイ類
漁獲量(kg)	199,448	0	1,925	73	1,102	7,798	4,317	3,370
前年比	2238%	0%	42%	84%	57%	78%	292%	97%
平年比	128%	0%	59%	90%	64%	76%	425%	67%





最上丸の調査予定 (10月中旬~11月上旬)

- ・沿岸・沖合の海洋観測を行います。
- ・ハタハタ沖合漁場調査を行います。
- ズワイガニ調査を行います。



まいしい 山形